

令和8年4月1日

国士舘大学 学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）

国士舘大学では、大学、学部学科等及び研究科ごとに定めた「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）」、「教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）」、「入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）」に基づき、学生の学修成果の評価（アセスメント）の方針として、「アセスメント・ポリシー」を策定し、大学、学部・研究科、授業科目の三段階で学修成果を測定・評価します。

大学（大学全体レベル）

入学者選抜や学生の進路（就職）状況、卒業生対象のアンケート調査等から、全学的な学修成果の達成状況を測定・評価します。

学部・研究科（教育課程レベル）

各学部学科等及び各研究科における、卒業・修了要件の達成状況、GPA 状況、単位修得状況、各種資格・免許等の取得状況等から、学修成果の達成状況を評価します。また、学年ごとの単位修得率や成績の分布状況、学年ごとに実施するアンケート調査等から教育課程全体を通じた達成状況を測定・評価します。

科目（授業科目レベル）

シラバスに掲示された授業科目の到達目標に対する評価や、学生による授業評価アンケート等から、科目ごとの学修成果の達成状況を測定・評価します。

□評価方法

各項目における測定及び評価方法は以下の通りです。

	レベル	名称	周期・時期	対象者	主な質問項目、内容等	対応する方針	結果の活用方法
入学時	大学 学部・研究科	入学者選抜	毎年10月～3月	新入生	・調査書等の記載内容 ・面接票・志望理由書等の記載内容	AP	各学部・研究科が教授会及び研究科委員会で入学時に求める学生像とAPとの整合を確認するとともに、募集活動等の改善に活用する。
	大学	新入生調査	毎年5月～6月	新入生	・高校時代の学習と活動 ・入学満足度・志望順位 ・選択理由 ・建学の精神、3Pへの理解度 ・期待・取り組み意欲 ・大学で目指すゴール ・成長起点データ	AP	学長室FD・IR推進課が内部質保証推進委員会及び学部長会に報告し、各学部の学習支援や初年次教育などカリキュラムの改善、自己点検・評価、情報公開に活用する。
	学部	入学前教育	毎年12月～3月	新入生	・各学部APに定める入学前に身に付けておくべきこと	AP	各学部が確認を行い、初年次科目との連携を図りつつ、新入生指導の改善に活用する。
在学時	大学・学部	外部アセスメント・テスト	毎年3月～4月	在学生（1年生、3年生）	・ジェネリックスキル *リテラシー 情報収集力、情報分析力 課題発見力、構想力 *コンピテンシー 対人基礎力、対自己基礎力 対課題基礎力	CP	学長室学長課が全学教学委員会で報告し、分析結果を教職員に共有する。学生の成長度合いを他大学と比較して、カリキュラム改善と内部質保証に活用する。学生へフィードバックし、自己分析に活用する。
	大学・学部	在学生調査	毎年5月～6月	在学生（2年生～4年生）	・学生の主体的な学び ・大学から提供される学び ・成長 ・進路について ・退学への意識 ・今後の期待 ・大学への要望	CP	学長室FD・IR推進課が内部質保証推進委員会及び学部長会に報告し、各学部の授業方法やカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用する。
	学部	単位修得状況、GPA	毎年5月	在学生	・各学生の単位修得状況 ・GPA平均値と分布状況	CP	教務部教務課が確認した結果を学長室FD・IR推進課へ報告し、内部質保証委員会で、エビデンスデータとして共有する。各学部の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用する。GPAが著しく低い学生への修学指導に活用する。
	学部・研究科	資格等取得状況	毎年10月	在学生	・各種資格等取得状況	CP	教務部教務課、防災・救急救助総合研究所及び教務部大学院課が確認した結果を学長室FD・IR推進課へ報告し、内部質保証委員会で、エビデンスデータとして共有する。各学部・研究科の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用する。

	レベル	名称	周期・時期	対象者	主な質問項目、内容等	対応する方針	結果の活用方法
	研究科	単位修得状況	毎年6月	在学生	・各学生の単位修得状況	CP	教務部大学院課が確認した結果を学長室FD・IR推進課へ報告し、内部質保証委員会で、エビデンスデータとして共有する。各研究科の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用する。
	科目	成績評価	毎年8月、3月	在学生	・各授業科目の学修到達度（定期試験・レポート等の結果）	CP	教員目線での到達度合いを評価し、学生指導に活用する。
	科目	授業評価アンケート	毎年6月、12月	在学生	・授業の理解度 ・授業の満足度 ・学習行動	CP	授業期間中に担当教員に共有し、同一科目分野内のアンケート結果も参照できるようにし、授業内容や指導方法の改善に活用する。授業評価アンケート結果は、学期ごとに集計を行って情報公開に活用する。
卒業時・卒業後	大学	進路（就職）状況	毎年5月	在学生（学部4年生、修士課程2年生、博士課程3年生）	・就職希望者における就職状況 ・進学希望者における進学状況（就職率・進学率）	DP	キャリア形成支援センターが確認した結果を学長室FD・IR推進課へ報告し、内部質保証委員会で、エビデンスデータとして共有する。学部長会・研究科長会へ報告し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用する。
	大学 学部	卒業時調査	毎年12月～3月	在学生（4年生）	・学生の主体的な学び ・留学経験 ・大学から提供される学び ・成長 ・キャリア設計について ・満足度 ・大学への要望	DP	学長室FD・IR推進課が内部質保証推進委員会及び学部長会に報告し、各学部のカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用する。
	大学	学位授与数	毎年3月	在学生（学部4年生、修士課程2年生、博士課程3年生）	・学位を授与した人数 ・学位取得率	DP	各学部・研究科が卒業判定会議で確認し、建学の精神及び教育の理念に基づき、卒業時に求める素養とDPとの整合を確認するとともに、自己点検・評価、情報公開に活用する。
	学部	卒業要件	毎年3月	在学生（4年生）	・達成状況	DP	各学部が卒業判定会議で確認し、DPとカリキュラムの整合と改善を図るために活用する。
	学部・研究科	資格等取得状況	毎年10月	在学生	・各種資格等取得状況	DP	教務部教務課、防災・救急救助総合研究所及び教務部大学院課が確認した結果を学長室FD・IR推進課へ報告し、内部質保証委員会で、エビデンスデータとして共有する。各学部・研究科の学習支援の改善、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用する。
	研究科	修了要件	毎年3月	在学生（修士2年生、博士3年生）	・達成状況	DP	各研究科が修了判定会議で確認し、DPとカリキュラムの整合と改善を図るために活用する。

	レベル	名称	周期・時期	対象者	主な質問項目、内容等	対応する方針	結果の活用方法
	大学	卒業生調査	毎年8月	卒業生	<ul style="list-style-type: none"> ・社会（職場）で必要とされる能力・スキル・教養 ・大学時代の学修で身についた能力・スキル・教養 ・在学中に身に付けた専門と修得度 ・在学中の経験（課外活動など） ・卒業後の就業状況 ・在学中の満足度 ・後輩へのメッセージ 	CP・DP	学長室 FD・IR 推進課が内部質保証推進委員会及び学部長会に報告し、各学部のカリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用する。
	大学	企業調査	毎年2月～3月	卒業生	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者に求める能力・評価 ・新規採用者を評価する、在学時の経験 ・求める就業観 ・本学の印象 ・本学卒業生の採用意欲 ・本学に期待する事 	CP・DP	学長室 FD・IR 推進課が内部質保証推進委員会及び学部長会に報告し、学生時代に身に付けてほしいことを確認し、授業内容やカリキュラムの改善に活用する。